

研究課題名	食品に関する行動、意識、心理に基づく消費者の類型化に向けた研究
研究責任者名	広島大学脳・こころ・感性科学研究センター 准教授 笹岡 貴史
研究期間	2023年7月10日(倫理委員会承認後)～2025年3月31日
対象者	2022年9月から2022年10月の間に、広島大学脳・こころ・感性科学研究センターが株式会社マクロミルに委託して実施したアンケート調査(E疫-965; 課題名: 感性情報の可視化および定量化へ向けての基盤研究)に参加された方
意義・目的	食品に対する「おいしさ」の感じ方は人それぞれであり、知覚的な要因から、過去の記憶・経験といったより高次の要因まで、いろいろな要因が存在すると考えられます。しかし、おいしさに関する「感性の違い」の個人差を規定する要因はいまだ明らかになっていません。本研究によって、その要因を明らかにできれば、「おいしさ」の感性モデルを構築が可能となると考えられます。
方法	本研究は、E疫-965の研究で得られた質問紙データと、株式会社マクロミルで保有する購買データを使用して行われます。株式会社マクロミルにおいて質問紙データと購買データを結合した後、誰のものか分からないように加工された情報は、株式会社マクロミルより株式会社明治を通して本学に提供され、株式会社明治と共同で解析に用いられます。
研究の実施体制	研究代表者 広島大学脳・こころ・感性科学研究センター 笹岡貴史 共同研究機関(研究機関、研究責任者、研究機関の長) 株式会社明治 物性・感性研究部 部長 外山義雄 購買データ・質問紙データの提供 業務委託先 株式会社マクロミル グループ長 菅原耕平 購買データ・質問紙データの提供
試料・情報の管理責任者	広島大学脳・こころ・感性科学研究センター 准教授 笹岡貴史
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-1722 広島大学脳・こころ・感性科学研究センター 准教授 笹岡貴史